

紫野の地域の歴史を巡る

平安京の北側は天皇の遊獵や行幸の地とされ、今の船岡山や今宮神社、大徳寺などの一帯が紫野と呼ばれていました。淳和天皇の離宮として知られる「雲林院」は紫野に位置し、平安京大宮大路につながります。

今回は雲林院を始めとした源氏物語の作者「紫式部」のゆかりの場所、紫野地域にある史跡及び神社を巡ります。

日 時 令和7年5月25日（日） 午前10時締切りで最終組スタート（小雨決行）

受 付 京都市考古資料館の東側駐車場（上京区今出川通大宮東入）

スタート 9時30分受付開始。受付後、20名程度で出発。

コース 考古資料館→①観世稻荷社→②世尊寺→③紫野斎院跡→④いちいだに櫨谷七野神社→⑤建勲神社石碑→⑥雲林院発掘調査地→⑦ごじょうの橋跡→⑧雲林院→⑨雲林院説明板→⑩若宮神社→⑪玄武神社→⑫紫式部・小野篁墓所（解散）

参加人数 先着100名 **参加費** 無料、事前申し込み不要

主 催 西陣歴史の町協議会（担当：紫式部通り会）

共 催 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

問合せ先 京都市考古資料館（電話：075-432-3245）



櫨谷七野神社・紫野斎院跡



雲林院



紫式部墓所